

広報 りくぜんたかた



特集

お天王さま夏祭り 2025
チャオチャオ陸前高田道中おどり

8

チャオチャオ陸前高田道中おどり
※関連ページ(2・3)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

SDGs 10
をなくそう
SDGs 11
住み続けられる
GOAL 11
まちづくりを

1PPON
MATSU

陸前高田市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

2025

No.1194

お天王さま夏祭り 2025

チャオチャオ 陸前高田道中おどり



1部と2部の間には、本市と名古屋市の友好の証として、両市の舞踊関係者らがチャオチャオ道中踊り用に共同制作した踊り曲『いこまいたかたあばっせなごや』が、シンガー雪音さんの生歌と市芸術文化協会舞踊部会による踊りにあわせて、ステージで披露されました。

誰でも自由に参加できる第2部では、会場に訪れた多くの人によって踊りの輪ができていました。

お天王さま夏祭り2025チャオチャオ陸前高田道中おどりが、7月19日(土)20日(日)の2日間にかけてまちなか広場周辺で開催されました。

夏祭りのステージイベントでは、太鼓や民謡ダンスなどが披露され、その他にも会場には子ども向けの遊びのコーナーなどがあり、来場者のにぎわいの声があふれていました。

チャオチャオは、昨年「輪踊り」の形式で5年ぶりに開催。そして本年は従来の「道中おどり」の形式で復活しました。踊りは2部構成で行われ、事前申し込み制の第1部では、13団体約290人が参加し、『チャオチャオ陸前高田』『高田音頭』『やさしい見さこい陸前高田』の3曲に合わせて、本丸公園通りを踊り歩きました。



陸前高田市 AED 設置場所一覧

高 田 町
陸前高田市役所
陸前高田市消防本部
陸前高田市立高田第一中学校
岩手県立高田高等学校
陸前高田市立高田保育所
陸前高田市立博物館
陸前高田市立図書館
奇跡の一本松ホール
夢アリーナたかた
高田松原運動公園
高田地区コミュニティセンター
陸前高田市保健福祉総合センター
鵜浦医院
松原クリニック
岩崎整骨院
多機能型支援施設アップル
なごみの家 小規模多機能型居宅介護事業所
小規模多機能ホーム「厨」
高田デイサービスセンター
障がい者支援施設 ひかみの園
陸前高田市観光物産協会
アバッセたかた (北側入口インフォメーションセンター付近)
マイヤ高田店
ツルハドラッグ高田中央店
気仙沼信用金庫 高田支店
そうごう薬局高田店
JA おおふなと高田支店
高田松原津波復興祈念公園事務室
スポーツドーム
高田松原海水浴場(海水浴期間中)

矢 作 町
陸前高田市立矢作小学校
矢作地区コミュニティセンター
下矢作地区コミュニティセンター
生出地区コミュニティセンター
たかた歯科医院

横 田 町
陸前高田市立横田小学校
横田保育園
横田地区コミュニティセンター
川の駅よこた

竹 駒 町
陸前高田市立竹駒小学校
竹駒保育園
竹駒地区コミュニティセンター
小規模多機能ホーム玉山
カネマン陸前高田
陸前高田ドライビングスクール

気 仙 町
陸前高田市立気仙小学校
陸前高田市立気仙保育所
今泉地区コミュニティセンター
長部地区コミュニティセンター
株式会社かわむら岩手工場(二日市、湊)
株式会社武蔵野フーズ

米 崎 町
陸前高田市立高田東中学校
陸前高田市立米崎小学校
米崎地区コミュニティセンター
民宿 沼田屋
佐武建設
イオンスーパーセンター陸前高田店

小 友 町
陸前高田市立小友小学校
陸前高田市立小友保育所
小友地区コミュニティセンター
東部デイサービスセンター
グループホーム「箱根山」
スノーピーク陸前高田キャンプフィールド

広 田 町
陸前高田市立広田小学校
広田地区コミュニティセンター
陸前高田市国民健康保険広田診療所
陸前高田市社会福祉協議会指定通所介護事業所「しおさいの家」
岩手県立高田高等学校 艇庫実習棟
岩手県立野外活動センター
黒崎仙峡温泉
大野海岸海水浴場(海水浴期間中)

問い合わせ先 市消防本部(内線723)



陸前高田市 AED マップを作成しました

SDGs GOAL 11 住み続けられるまちづくりを

市消防本部では、市内全域の AED の位置を確認できる「陸前高田市 AED マップ」を作成しました。AED マップは市ホームページで公開されており、二次元コードからも確認できます。

また、中心市街地の AED の設置場所が分かるように次のマップを作成しました。

有事の際には、AED マップをぜひご活用ください。

なお、掲載情報は 8 月 1 日(金)現在のものです。

※市ホームページの設置情報は随時更新予定です。

AED マップ
はこちら

陸前高田市 AED マップ ～市街地 ver.～





● 米国クレセントシティ市民訪問団と市民ホストとして交流しましょう

震災で流失した高田高校の実習船「かもめ」の漂着をきっかけに、相互交流を続けている米国クレセントシティ市から2年ぶりに市民訪問団約30人が訪れます。

市内滞在期間中は、さまざまな交流イベントが行われます。その一環として、宿泊を伴わない日中だけのホストファミリー「市民ホスト」を募集します。

ネイティブの英語に触れる貴重な機会です。子育て世帯の方々も大歓迎ですので、市民の皆さんのご参加・ご協力をよろしくお願いします。

ホスト日時：9月14日(日) 午前10時～午後7時
※訪問団の市内滞在期間は9月11日(木)～15日(月・祝)

内容(予定)：①対面式(キャピタルホテル1000)
②市民ホストとして市内案内&交流
③昼食・夕食(家庭料理でも可)※食事代は訪問団の自己負担です。
④お別れ(キャピタルホテル1000)

訪問団：高校生から60代までのアメリカ人

マッチング：年齢や性別などを踏まえて、市がマッチングを行い、決定した市民ホストの人には、9月7日(日)までに受入者の詳細を連絡します。

受入費用：受け入れはボランティアとなります。国際友好都市との交流のため、ご理解ご協力をお願いします。

申込方法：右のフォームから申し込み

申込期限：8月20日(水)

問い合わせ先 市役所交流推進課定住交流係(内線411)



過去の市民訪問団との交流の様子

お申し込み
はこちら



● シンガポール市民訪問団を募集します！

市では、震災後から友好関係にあるシンガポール共和国に市民訪問団を派遣し、多文化共生を学ぶプログラムを実施します。

シンガポール共和国は、震災後に市コミュニティホールや市立図書館の建設のため多くの支援をいただき、その後も産業交流や高校生派遣などを通じて友好関係を築いてきました。これまでの支援への感謝を伝えながら多文化共生を学んでみませんか。

プログラムに参加する市民訪問団を次のとおり募集しますので、皆さんの申し込みをお待ちしています。

日程：10月8日(水)から12日(日)まで(シンガポール3泊、機内1泊)

内容：①在シンガポール日本国大使館表敬訪問
②TAMPINES(タンピネス)異文化共生モデル地区視察
③シンガポール赤十字社および国立シンガポール大学訪問
④市民交流および懇親会など
※内容は変更になる場合があります。

募集人数：10名

参加費用：1人当たり約20万円(税込) ※交通費・宿泊費含む

説明会：参加希望者は次の説明会に参加し、申込書を受け取ってください。

日時：8月20日(水)、22日(金) 午後5時30分～7時、24日(日) 午前10時30分～正午

会場：(株)RTB店舗(陸前高田市高田町字馬場前300番地7)

留意事項：

- ・日本人の旅行ガイドが全行程に付き添いますので、英語が話せない人も参加可能です。
- ・参加資格は、市内に住所を有する16歳以上の人でシンガポールとの交流に意欲のある人です。
- ・申込者が多数の場合は抽選となります。
- ・本プログラムは市から市内旅行会社の(株)RTBに委託し実施するものです。

問い合わせ先 市役所交流推進課定住交流係(内線411)



シンガポールのマーライオン像



● 武雄市への旅行に奨励金を交付しています

市では、令和3年3月に締結した「武雄市・陸前高田市交流連携協定」に基づき、市民相互の経済交流促進のため、武雄市への宿泊を伴う旅行をした市民を対象に奨励金を交付しています。

武雄市は、佐賀県の西部に位置し、開湯1300年の歴史を誇る武雄温泉があり、国の重要文化財である楼門が入浴客を温泉へと迎え入れてくれます。また、貝だくさんでボリュームたっぷりの「武雄・北方ちゃんぽん」も有名で、ちゃんぽんを提供する多数の飲食店が軒を連ねています。

この機会に、「温泉とグルメの町」武雄市へお得に旅行してみませんか。

交付額：1人につき3万円(各年度につき1回限り)

条件：次の①～④全てを満たす必要があります。

- ①武雄市内の宿泊施設に宿泊すること
- ②陸前高田市内に住所を有し、市税などの滞納がないこと
- ③暴力団員またはそれらと密接な関係を有する者でないこと
- ④本市で行われる武雄市との交流事業に参加する意志を有していること

申請方法：次の①または②の方法により、申請してください。

- ①申し込みフォームからの申請
- ②市ホームページから申請様式をダウンロードし、必要事項を記入の上、市役所交流推進課へ提出
※申請様式は窓口でも配布しています。

申請期限：出発日の7日前まで

問い合わせ先 市役所交流推進課定住交流係(内線413)



武雄温泉楼門



武雄・北方ちゃんぽん

詳細は
こちら



お申し込み
はこちら



● 東京圏の大学に通う学生の岩手県への就職・移住を応援します

市では、東京圏から本市にUターンまたは移住し、就職する大学生を支援するため、本年度より岩手県が実施している地方移住学生支援補助金の受け付けを開始しました。東京圏の大学に通う家族やお知り合いなどにぜひお知らせください。

対象者：東京都に本部のある大学または大学院の東京圏内のキャンパスに通学している(していた)学生で、岩手県内の企業に就職し、卒業後に本市に移住する(した)人。

※対象大学や制度の詳細は市ホームページからご確認ください。

対象経費および助成金額

費目	対象経費	助成金額
交通費	就職先企業との就職活動に要した経費	上限 15,200円
移転費	本市への引っ越しに要した経費	上限 108,000円

※交通費・移転費ともに補助金の交付は1人につき1回に限ります。

申請方法：次の①または②の方法により、申請してください。

- ①申し込みフォームからの申請
- ②市ホームページから申請様式をダウンロードし、必要事項を記入の上、領収書などの必要書類をそろえ、市役所交流推進課へ提出
※申請様式は窓口でも配布しています。

申請期限：令和8年2月27日(金)

問い合わせ先 市役所交流推進課定住交流係(内線413)

お申し込み
はこちら





介護に関する各事業についてお知らせします

SDGs GOAL 3 すべての人に健康と福祉を

要支援・要介護認定者が受けられる介護保険サービスとは別に、市独自で実施している各事業についてお知らせします。なお、いずれの事業も事前の申請が必要です。

家族介護用品支給事業（通称：おむつ券）

対象者：紙おむつを必要とする住民税非課税世帯の、要介護3～5の人を在宅にて介護している人
※施設入所中、入院中の人は除く。

支給内容：要介護3～5の人ひとりにつき、月1枚5,000円分の支給券（紙おむつ、リハビリパンツ、尿とりパッド、介護用おしりふきの購入に使えます。）

詳細はこちら



家族介護慰労金支給事業

対象者：在宅で、要介護4・5の人を介護している同居家族または近隣に居住し介護している人
条件：申請日前に継続して6カ月以上、介護保険サービスを利用していないこと（7日以内のショートステイは除く）

支給額：要介護4・5の人ひとりにつき年5万円

詳細はこちら



いたわりの道整備事業

対象者：要介護3～5の人または身体障害者手帳1・2級を所持している人のいる住民税非課税世帯

対象工事：市道、私道、庭などの住宅の敷地内において、車イスやストレッチャーでの移動に支障がある区間の舗装工事

補助額：工事費の2分の1（上限50万円）

詳細はこちら



申し込み・問い合わせ先 市役所福祉課介護係（内線243・244）

市内の介護・障がい者施設職員の皆さまへ



奨学金返還支援制度の申請を受け付けています

SDGs GOAL 3 すべての人に健康と福祉を

SDGs GOAL 4 質の高い教育をみんなに

市内の介護・障がい者施設における人材の確保、定着を図るため、在学中に奨学金を借り入れた職員の皆さんが返還した奨学金の一部を補助します。

対象者：①市内に所在する介護・障がい者施設に勤務している職員（居住地は問わない）
②市内に事業所を有する法人が運営する市外の施設に勤務している職員（本市に住民登録があること）

補助内容：①補助率 令和6年度中に返還した奨学金の2分の1以内
②限度額 ひと月あたり1万2,000円（年間最大14万4,000円）

受付期間：令和8年2月27日（金）まで

詳細はこちら

申し込み・問い合わせ先 介護施設担当：市役所福祉課介護係（内線243）
障がい者施設担当：市役所福祉課福祉係（内線212）

SDGs GOAL 17 パートナリーシップで目標を達成しよう



イタルトコロ大学では皆さんのニーズをお待ちしています

「陸前高田イタルトコロ大学」は、陸前高田市内外の住民や団体が抱えるニーズと、大学生の団体や研究室が持つ「やってみたい」という意欲や専門知識をマッチングさせ、地域ニーズと大学をつなぐプログラムの一環であり、立教大学、岩手大学が関わる陸前高田グローバルキャンパス主催事業として運営されてきました。

グローバルキャンパスは、本年3月末に閉所しましたが、4月以降は「学生等による協働のまちづくり事業」として引き継がれています。

現在は、一般社団法人トナリノが業務を受託し、立教大学、岩手大学、早稲田大学の関係者や市民が運営に協力しています。

本年度も事業に寄せられたニーズを受け、多くの大学生たちが本市を訪れています。5月4日（日・祝）に開催された「名前のないまつり」ではフレスコボール体験会を担当し、事前に練習してきたチャオチャオでも会場を盛り上げてくれました。また、翌日には、「箱根こどもまつり」の開催にも携わってくれました。2週間後には「みちのく潮風トレイル」の散策を体験し、トレイルをさらに盛り上げていくためのアイデアの検討が始まりました。その他にも、「ほんまる茜市」「ツール・ド・三陸」「米崎プロジェクト第2弾」なども動き始めています。

本事業は、地域の皆さまからのニーズによって成り立っています。元気で明るい若者たちが陸前高田に関心を持ち、訪れるきっかけをつくることにもつながりますので、「大学生と一緒にこんな地域課題に取り組みたい！」というニーズをお待ちしています！

ニーズの受け付けはこちら



問い合わせ先 （一社）トナリノ事務局（吉田） ☎0192(47)3287



みちのく潮風トレイルを体験した大学生たち



日本語教室のボランティアを募集します

SDGs GOAL 4 質の高い教育をみんなに

SDGs GOAL 11 住み続けられるまちづくりを

市国際交流協会では、在住外国人向けの日本語教室を開催しています。本教室は高校生から70歳までの約15人のボランティアの皆さんの協力で、運営しています。

この度、日本語教室の拡充に伴い、教室の運営に関わるボランティアを募集します。本教室は、外国人の皆さんと楽しく日本語を学び、日本語で会話し交流することで、コミュニティをつくることを目的としており、日本語に関する資格などは必要ありません。

なお、ボランティアの人の教室への出席は義務でなく、気軽に参加いただけます。外国人との会話を楽しみながら、一緒に活動しませんか？



日本語教室の様子

日時：原則毎週月曜日 午後6時30分～8時
※日時は変更となる場合があります。

場所：市コミュニティホールなど

申込方法：右のフォームから申し込み

申込期限：8月31日（日）

市国際交流協会の活動の様子はこちら



note



Facebook

お申し込みはこちら



問い合わせ先 市役所交流推進課定住交流係（内線412）



子育て支援センターを利用してみませんか

SDGs GOAL 3 すべての人に健康と福祉を

子育て支援センターは、就学前のお子さんとその家族が、自由にのびのびと遊べる場所です。センターでは、利用者同士で交流ができたり、季節のイベントや子育てに関する育児講座などさまざまなイベントを開催しています。その他にも、育児の不安や悩みについてスタッフが相談に応じます。

お近くの子育て支援センターへお気軽に足を運んでみてください。

施設名	場 所	開所日*	利用時間	対 象
子育て支援センター あゆっこ	気仙町字三本松100番地 気仙保育所内 ☎0192(55)6261	月～金	午前9時30分～正午 午後1時～3時	就学前のお 子さんとその 家族、妊 婦
子育て支援センター にこにこ	広田町字大久保25番地 広田保育園内 ☎0192(56)4600	月～金	午前9時30分～正午 午後1時～3時 ※午後の利用は要予約	
子育て支援センター たかた	高田町字中和野36番地 2 高田保育所内 ☎0192(54)4830	月～金	午前9時30分～正午 午後1時～3時	
おやこの広場 きらりんきっず	高田町字並杉300番地 1 ☎0192(47)3908	月～金	午前9時30分～午後 3時30分	

※祝日における開所日については、下の「センターの詳細はこちら」の二次元コードをご確認ください。

主な講座・イベント

- 果物狩り ● クッキング ● 手型足型アート ● スクラップブック
- 親子ふれあい遊び ● リトミック遊び ● 出張育児相談会 ● 防災講座
- 絵本の読み聞かせ、貸し出し ● ベビーマッサージ
- お出かけ、バス遠足 など



育児相談

- 離乳食の進め方 ● 子どもの発達、発達 ● トイレトレーニング ● しつけについて
- 保育所(園)について など

※育児相談は電話でも対応しています。

子育て支援センター通信(あゆっこ、にこにこ、たかた)、きらりんきっずイベント情報は、毎月発行しています。

市ホームページおよび市公式LINEでもお知らせしていますのでご覧ください。

センターの
詳細はこちら

子育て支援センターたかたは土日などにも開所しています

開所施設：子育て支援センターたかた

開 所 日：毎週土曜日、日曜日、祝日にあたる月曜日

開所時間：午前9時～正午、午後1時～4時

※毎月の開所日は市ホームページおよび毎月発行の子育て支援センター通信を確認してください。

土日などの
開所日の
詳細はこちら

問い合わせ先

市役所子ども未来課子育て支援係(内線254)



SDGs GOAL 10 人や国の不平等をなくそう



定額減税補足給付金に不足があった人に不足分を給付します

昨年度に実施した定額減税補足給付金(当初調整給付)で算定した給付金の金額に不足が生じる人を対象に、不足分の金額を支給します。支給対象と見込まれる人には、「支給のお知らせ」または「支給確認書」、「申請書」のいずれかを8月上旬以降順次、発送します。

対 象 者：本年1月1日現在、本市に住民登録がある人で、次の①②のどちらかに該当する人
ただし、本人の合計所得金額が1,805万円を超える人は対象外となります。

①不足額給付Ⅰ＝当初調整給付に不足額が生じた人

【対象となる可能性がある場合】

- ・令和5年分所得よりも令和6年分所得が減少した場合(退職など)
- ・令和6年中にこどもの出生など、扶養親族が増えた場合
- ・令和6年分所得税が新たに発生した場合(新社会人など) など

②不足額給付Ⅱ＝本人および扶養親族として定額減税の対象外であり、かつ低所得世帯向け給付の対象世帯主、世帯員にも該当しなかった人で、次のいずれかに該当する人
・合計所得金額が48万円を超える人
・青色事業専従者または事業専従者

支 給 額：①令和6年分所得税額などが確定し算出した給付額から当初調整給付を引いた金額(1万円単位)
②1人あたり原則4万円

手 続 き：①不足額給付Ⅰの対象となる人

昨年の当初調整給付の支給の際に口座を確認済みの人、またはマイナポータルで公金受取口座の登録が済んでいる人には、「支給のお知らせ」を送付します。
支給口座の確認が必要な人には、「支給確認書」を送付しますので、必要事項を記入し、本人確認書類などを添えて返送してください。

②不足額給付Ⅱの対象となると思われる人

「申請書」を送付しますので、必要事項を記入し、必要書類を添えて返送してください。
※令和6年1月2日以降に本市に転入した人で定額減税しきれないと思われ、市から確認書などが届かない場合でも、支給対象となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

申請期限：10月31日(金)

問い合わせ先

市役所福祉課福祉係(内線212)

ひとり親などが対象です



8月は児童扶養手当の現況届提出月です

SDGs GOAL 3 すべての人に健康と福祉を

児童扶養手当の現況届は、今後1年間(8月～令和8年7月まで)の受給資格を確認するものです。現況届が未提出の人は支給停止となりますので、対象の人は必ず届け出をしてください。

※令和6年度の手当が支給停止になっている人も、現況届の提出が必要です。

提出期限：8月29日(金)

※受付時間は午前8時30分～午後5時15分(平日)

提出場所：市役所2階子ども未来課

持参するもの：①現況届用紙 ②児童扶養手当証書(令和6年度受給者のみ) ③世帯員調書 ④養育費等に関する申告書(0円の場合でも要提出) ⑤一部支給停止適用除外事由届出書 ⑥控除対象扶養親族に関する申立書 ※④～⑥は該当者のみ

提出・問い合わせ先

市役所子ども未来課子ども家庭係(内線252)



空き家は放置せず、適正な管理をしましょう

SDGs GOAL 11 住み続けられるまちづくりを

空き家を放置してしまうとどうなる？

全国的に空き家が増加しており、本市でも空き家に関する相談が年々増えています。

空き家が適正に管理されていないために、近隣の生活環境の悪化や強風による屋根や外壁などの飛散を引き起こし、近隣の住宅や通行人へ被害を及ぼす危険性があります。

空き家を原因とする事故が起きた場合、所有者の管理責任が問われ、損害賠償などの責任を負うことがあります。

空き家となる前に、日頃から家族で住宅の将来について考えてみませんか。

空き家になってしまったらどうする？

親が施設に入所するなど住んでいた住宅が空き家となるケースや、相続により空き家の所有者となるケースなど、ある日突然空き家の所有者となることもあります。

空き家を所有することとなった場合は、「管理」、「活用（貸す・売る）」、「解体」のいずれかを選択しなければなりません。

空き家バンクに登録しませんか？

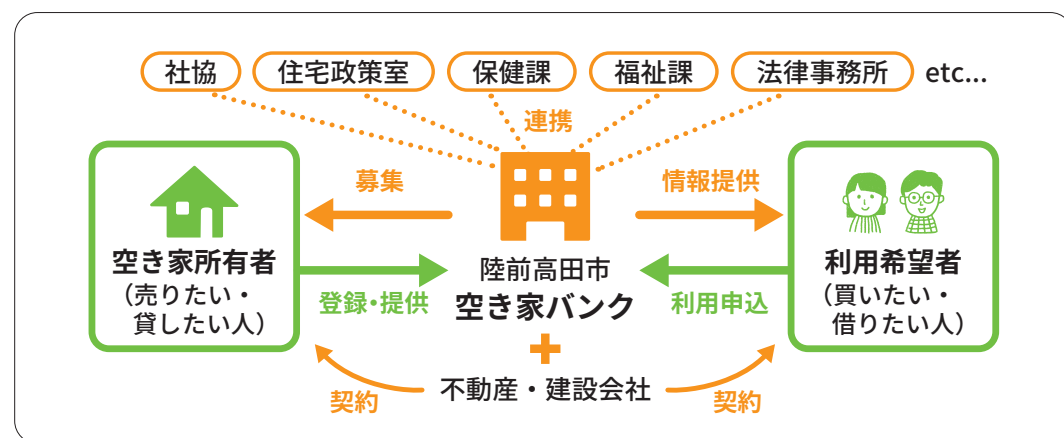
本市では、市内の空き家を有効活用するため、空き家バンク制度を実施しています。本制度は、住宅や店舗などの物件を探している人と空き家を「貸したい」、「売りたい」という人を繋ぐサービスです。

登録には一定の条件がありますが、登録料は必要ありません。

空き家バンクへの登録については、次の連絡先へお問い合わせください。

空き家バンクについての問い合わせ先：NPO法人高田暮舎 ☎080(6050)0761

詳細は
こちら



管理が不適切な空き家への対応

管理が適切に行われていない空き家は、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、指導・勧告・命令などが所有者に対して行われるだけでなく、改善されない場合は、行政代執行により強制的に空き家を除却し、所有者（相続人も含む）に対して、除却に要した費用を請求するケースも発生します。

そのため、空き家バンクの活用や解体を行うなど、今からできることをはじめ、これからも地域の良好な生活環境を守っていきましょう。

問い合わせ先 市役所住宅政策室住宅政策係(内線481)



9月から陸前高田駅みどりの窓口の営業日が変わります

SDGs GOAL 11 住み続けられるまちづくりを

これまで陸前高田駅みどりの窓口は、毎日営業となっていました。9月から日・水・金曜日の週3日営業に変わります。9月最初の営業日は、3日休になりますのでご注意ください。

営業時間に変更はなく、待合室への立入りやトイレの利用は、休業日でも可能です。

休業日は、盛駅や気仙沼駅のみどりの窓口をご利用いただくか、JR東日本のインターネットサービス「えきねっと」をご利用ください。

問い合わせ先 JR東日本お問い合わせセンター ☎050(2016)1600



新エネルギー設備導入補助金のさかのぼりによる申請の受け付けを終了します

SDGs GOAL 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

市では、住宅用の太陽光発電システムや薪・ペレットストーブなどの新エネルギー設備の導入に対する補助を行っています。

この度、令和2～6年度に市の助成を受けずに新エネルギー設備を導入した人のさかのぼりによる申請の受け付けを9月1日(月)をもって終了しますので、期限までの申請をお願いします。

また、補助割合や補助上限、商品券による補助の形式は、従前のままとなりますのでご了承ください。

	住宅用太陽光発電システム(風力、水力などを含む)	ペレットストーブ・薪ストーブ
助成額	公称最大出力のkW当たり3万円(上限10万円)	設置費用(税抜)の2分の1以内(上限10万円)

問い合わせ先 市役所まちづくり推進課生活環境係(内線121・122)



「農地の日」に合わせて農地パトロールを実施しました

SDGs GOAL 2 飢餓をゼロに

SDGs GOAL 15 陸の豊かさも守ろう

毎年7月15日は、県の農業委員会組織が定めた「農地の日」です。

この日に合わせて、県内の農業委員会では一斉に多様な取り組みを行っており、本市では、7月14日(月)、農業委員および農地利用最適化推進委員22人が参加し、ほ場視察や啓発活動を行いました。

当日は、市コミュニティホールで出発式を行った後、農地法の許可地などの利用状況を確認しました。また、本年から作付けの規模を拡大した若手農業者と農地所有適格法人が作付けする2カ所のほ場を視察し、耕作者や法人の担当者から説明を受け、意見交換を行いました。

パトロール終了後、イオンスーパーセンター陸前高田店で、チラシや全国農業新聞などを配布し、「農地を守り、生かしましょう」と呼びかけました。



呼びかけの様子

問い合わせ先 市農業委員会事務局(内線461)

絵本作家サトシンさんと 絵本よみまショー

絵本「うんこ！」(文溪堂)、「わたしはあかねこ」(文溪堂)、「おすしがすきすぎて」(学研プラス)でおなじみの絵本作家、サトシンさんによる絵本ライブを行います。
映像も取り入れながら、大人も子どもも楽しめるイベントです。
おはなしと歌で楽しい時間を過ごしましょう！

日 時：9月7日(日) 午後1時30分～2時30分
場 所：アバッセたかた パブリックスペース
対 象：誰でも参加可
定 員：50名(先着順)
参加費：無料
※終演後に、サイン会を予定しています。



サトシンさんプロフィール

1962年、新潟県生まれ。広告制作プロダクション勤務、専業主夫、フリーのコピーライターを経て、絵本作家に。作家活動の傍ら、新しいコミュニケーション遊び「おてて絵本」を発案、普及活動に力を入れている。現在、大垣女子短期大学客員教授を務める。『うんこ!』(文溪堂)で、第3回MOE絵本屋さん大賞受賞、第5回書店員が選ぶ絵本大賞など受賞。

問い合わせ先 市立図書館 ☎0192(54)3227

第1回ブックランドさんりくを開催します！

9月6日(土)、7日(日)は、まちなか広場周辺で「第1回ブックランドさんりく」が開催されます。
「本とあそび」をテーマに、ほんま一箱古本市や朗読劇など、本にまつわる楽しいことが盛りだくさん。こちらにもどうぞ足をお運びください！



あの光景がよみがえる

● セタまつりの山車の展示とお囃子披露が復活します！

SDGs GOAL 11 住み続けられるまちづくりを

高田町うごくセタまつり実行委員会では、セタまつり当日以降もまつりの魅力や雰囲気を感じてもらうため、次のとおり山車の展示とお囃子披露を実施します。

11日(月・祝)には、気仙町けんかセタのお囃子も披露されますので、ぜひご覧ください。

展示期間：8月8日(金)～15日(金)

場 所：アバッセたかた前駐車場(多目的広場)

山車展示：大町、川原、鳴石祭組

お囃子披露スケジュール

日 時	8日(金)	9日(土)	10日(日)	11日(月・祝)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)
	午後7時～8時							
参加祭組(予定)	荒町 大石	川原 和野	大町 長砂 鳴石	今泉 けんかセタ	荒町 大石 鳴石	大町 長砂 和野	荒町 鳴石	川原 和野

その他

- ・駐車場の一部を使用するため、観覧の際は車などにご注意ください。
- ・山車に無断で登ったり、太鼓を叩くことはご遠慮ください。
- ・荒天の場合、お囃子を中止することがあります。

問い合わせ先 高田町うごくセタまつり実行委員会 ☎0192(55)3300



その先の笑顔のため、いまできること

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs とは？ 自分の子どもや孫たちが暮らす未来に、住みやすい地球(世界)を残すため掲げられた全世界の人が取り組むべき目標

本市は、令和元年(2019年)7月に「SDGs未来都市」に県内で初めて選定されました。
「その先の笑顔のため、いまできること」編では、本市でSDGsの達成に向け積極的に取り組んでいる人・団体、関連イベントなどを紹介しています。

SDGs GOAL 3 すべての人に健康と福祉を

SDGs GOAL 11 住み続けられるまちづくりを

SDGs GOAL 12 つくる責任 つかう責任

普段の仕事の内容を教えてください

震災をきっかけとした応急仮設住宅入居者への傾聴にはじまり、さまざまな悩みや不安、寂しさなどを抱えた人の気持ちに寄り添う傾聴ボランティア活動を行っています。

SDGsに関する主な取組内容を教えてください

現在も市営住宅入居者などへの個別訪問による傾聴活動を行っているほか、昨年には市営住宅下和野団地、中田団地の両団地で月1回ずつの傾聴サロンを開催し、レクリエーションなどを行っています。健康教室などの場で、講師として傾聴の手法を広めたりもしています。

SDGsに関する取り組みの展開、目標などがあればお聞かせください

市民の皆さんが笑顔で暮らせるようにとの思いで立ち上がった活動ですので、継続的な活動にするためにも、まずはボランティア養成講座などによる人材育成を進めたいと考えています。また、他市町村のボランティア団体とも連携し、情報交換によるスキルアップも図っていきます。

これからの陸前高田市をどんなまちにしていきたいですか

穏やかな笑顔と優しい言葉がけ、そして人のぬくもりを大切にしながら、誰もが生き生きと笑顔で暮らせるまちづくりを目指していきます。

陸前高田市傾聴ボランティア
こころのもり
代表 西條 正夫 さん



あなたもぜひSDGsに取り組んでみませんか？

第59回 陸前高田市民芸術祭

～ 育てよう 芸術文化 郷土の未来 ～

一般展示部門および会席部門研修会の作品募集

市民芸術祭一般展示部門および会席部門研修会に出品する作品を広く募集します。

応募資格

- ①市内に在住または勤務する人。※震災後、他市町村に避難転出した人も対象。
- ②他市町村の人で本市芸術文化協会会員と認められる人。

一般展示部門

応募作品を市コミュニティホールに展示し、活動の成果を発表します。

日 時	11月1日(土)～3日(月・祝) 午前9時～午後5時(最終日は午後3時まで)
会 場	市コミュニティホール
募集作品 (規格)	洋画(100号以内)、日本画、水墨画、ちぎり絵、切絵、絵手紙(幅90cm以内)、書(全紙以内・表装・表具・釈文)、俳句(季は夏から秋)、短歌(雑詠歌)、川柳(雑詠句)、写真(4つ切～全倍)、銘石、陶芸、工芸・彫金、彫刻、手芸、華道、フラワーアレンジメント、デザイン、菊花(規格などは市芸術文化協会まで問い合わせ)
募集点数	2点以内(菊花を除く)
応募期間	9月1日(月)～10月3日(金) ※必着
応募方法	市芸術文化協会事務局(市コミュニティホール内)、市教育総務課(市役所5階)、市内各地区コミュニティセンターで配布する「出品票」に必要事項を記入の上、市芸術文化協会事務局または市教育総務課に提出してください。 ※出品票は9月1日(月)から配布します。 ※市ホームページからもダウンロードできますのでご利用ください。 ※作品の搬入は10月31日(金)を予定しています。それより前に作品を持ち込むことはできません。
そ の 他	・各部門とも題材は自由です。その他創作作品や規格外の作品を出品したい場合は、市芸術文化協会までお問い合わせください。 ・パネル展示の場合は、吊下げヒモをつけてください。 ・期間中の午前10時から午後3時まで、体験コーナーの開催を予定しています。先生の指導の下、お花、書、手芸、デザイン、着付けなどを体験できます。(当日参加可、参加無料)

会席部門研修会

応募作品について、講師からのアドバイスを受けられます。(一般の人の聴講・参加も可)

	俳 句	短 歌	川 柳
日 時	10月7日(火) 午後1時～3時	10月14日(火) 午前10時～正午	10月27日(月) 午前10時～正午
会 場	市コミュニティホール		
規 格	季は夏から秋	雑詠歌	雑詠句
募集点数	5句以内	2首以内	3句以内
応募期限	9月9日(火)	9月16日(火)	9月26日(金)
応募方法	作品(読み仮名)、氏名、所属団体名、住所、電話番号を明記の上、市芸術文化協会事務局または市教育総務課に提出してください(様式は任意)。		

問い合わせ先 市芸術文化協会 ☎0192(54)5540 または市教育委員会教育総務課生涯学習・芸術係(内線552)

生涯学習情報



はまらっせゐ

学びを通じ、未来を創造する、心豊かでたくましい人づくり

SDGs GOAL 4 質の高い教育をみんなに



「初心者向け スマートフォン教室」を開催します! 講師:一般社団法人トナリノ

市では、初心者向けの「スマートフォン教室」を開催します。
スマートフォンの使い方で困ったことはありませんか? 基本的な操作方法(電話・カメラ)やインターネットの使い方、メッセージアプリの使い方を各コースの講座で学びます。
「スマホを持っているけどなんとなく使っている、もっと使いこなしたい」という人は、ぜひこの機会に学んでみませんか?



日 程

● 初級コース(A・B)全3回 会場:奇跡の一本松ホール 実習室1・2

	内 容	Aコース(定員12名) (午前9時30分～11時30分)	Bコース(定員12名) (午後2時～4時)
1日目	・電源の入れ方、ボタン操作 ・電話、カメラの使い方	9月1日(月)	
2日目	・安心安全なインターネットの楽しみ方 ・全国版救急受診アプリ(Q助)	9月8日(月)	
3日目	・LINEの使い方、陸前高田市公式LINE ・ハザードマップで災害リスクを確認	9月17日(水)	

● 中級コース(C・D)全3回 会場:奇跡の一本松ホール 実習室1・2

	内 容	Cコース(定員12名) (午前9時30分～11時30分)	Dコース(定員12名) (午後2時～4時)
1日目	・アプリのインストール方法 ・地図アプリの使い方	9月11日(木)	
2日目	・LINEの使い方、陸前高田市公式LINE ・マイナポータルを活用しよう	9月18日(木)	
3日目	・安心安全なインターネットの楽しみ方 ・生成AIを使ってみよう	9月25日(木)	

● 土曜コース(E・F)各1回 会場:奇跡の一本松ホール ルーム3

	内 容	Eコース(定員8名) (午前9時30分～11時30分)	Fコース(定員8名) (午後2時～4時)
各1回	・安心安全なインターネットの楽しみ方 ・生成AIを使ってみよう	9月6日(土)	

対 象:スマートフォンについて学びたい人

費 用:無 料

持 ち 物:ご自身のスマートフォン(お持ちでない場合は貸し出しも可 ※上限あり)

申込開始:8月20日(水) ※先着

申込方法:電話、申し込みフォーム、FAX、市役所教育総務課窓口で受け付けます。

申し込みの際は、①～⑥を明記してください。

①氏名 ②住所 ③電話番号 ④年齢 ⑤希望のコース ⑥スマホの有無

※多くの人が参加できるよう、1人1コースのみの申し込みとします。

申し込み・問い合わせ先:市教育委員会教育総務課生涯学習・芸術係

〒029-2292 陸前高田市高田町字下和野100番

☎0192(54)2111(内線552) FAX:0192(54)3888

※本事業は、総務省「令和6年度補正予算『デジタル活用支援推進事業』」の補助事業です。

お申し込み
はこちら



学校通信

高田第一中学校だより

SDGs GOAL 4 質の高い教育をみんなに

今月は、高田第一中学校の学校生活や日々の取り組みの様子をお届けします

4/4金 入学式・4/8火 新入生歓迎会

本年度は53人の新入生が入学し、高田一中は全校生徒155人でスタートしました。入学式では、在校生の温かい拍手と、第2の校歌「空～ぼくらの第二章～」で、新しく高田一中の仲間となった1年生を祝福しました。翌週に開催された新入生歓迎会では、生徒会本部が中心となって、新入生に学校生活や部活動について紹介しました。生徒会による寸劇では、学校生活をユーモアたっぷりに紹介し、新入生も在校生も明るい気持ちで新学期をスタートさせることができました。



5/16金 運動会



本年度はスローガンを「笑進～限界を超えろ!!!～」とし、3年生を中心に準備を進めてきました。4月後半から取り組みをスタートさせ、練習ではスローガンのとおり全校が心を一つに限界を超え、練習に励みました。当日は天候にも恵まれ、黄組スローガン「王華爛漫」、紅組スローガン「鬼焱万勝」のもと、全員が全力で競技や応援を行い、両組団ともに2冠を獲得する熱戦を見せてくれました。また、保護者や地域の皆さんの歓声や拍手で、会場を盛り上げていただきました。互いの健闘を称え合う姿がみられ、生徒一人一人の笑顔が輝いた最高の運動会になりました。

7/2水 1年 班別フィールドワーク

グループ別にそれぞれの職場に出向き、地域で活躍する皆さんからお話を聞きました。そのうち5月から公開された旧吉田家住宅主屋を訪問したグループでは、棟梁の藤原出穂さんにインタビューをさせていただきました。大工さん方の「あの頃の姿に戻したい」という熱い思いを感じ、自分たちもまちの宝として残して受け継いでいきたいと決意を新たにしました。



7/2水 2年 Make the future

「Make the future（職業理解学習）」では、県内外から5つの企業を招待し、各企業の方々の講話を通して、職業への理解を深めました。また、職業への理解を通して、そこで働く人の生き方についても学ぶ貴重な機会となりました。仕事に対する情熱や力強い言葉が私たちの心に響き、そして背中を押してくれました。自分の将来を考え、これからの未来をデザインしていきたいと思います。



7/8火 3年 津波避難行動体験



本年度も、防災行政無線の放送を受けて、高田松原から夢アリーナたかたへの避難を実際に体験しました。また、体験後は海上保安庁の方から海の安全に関する講話を聴きました。体験や講話を通して、陸前高田市が津波フラッグやハザードマップなど、みんなが安全に避難するための工夫をしていることを知ることができました。実際に災害が起こった時に率先して避難行動をとれるよう、これからも考えていきたいと思います。今後は、今回の体験をもとに津波発生時の避難を呼びかけるポスターを作成していきます。

問い合わせ先 高田第一中学校 ☎0192(55)3921

観光 インフォメーション

春の修学旅行民泊が無事終了！ 新たな受け入れ家庭を募集中です！



春の修学旅行民泊では、全国から多くの中高生が本市を訪れ、地域の皆さんとの温かい交流を通じて、訪れた中高生はたくさんの学びや気づきを得て帰っていきました。

現在、秋の修学旅行民泊に向けて、新規受け入れ家庭を募集中です。新規受け入れ家庭の皆さんには、中高生の受け入れについて個別に説明・案内をします。その他にも毎年、受け入れの事前説明や研修があり、当日もスタッフが丁寧にサポートしますので、初めての人でも安心して始めることができます。

修学旅行民泊の中でも、東日本大震災の被災地であり、防災をテーマにした受け入れを大規模に行っているのは、本市だけです。「当時どう過ごしていたのか」「今どんな備えをしているのか」——そんな日常のやりとりが、生徒たちの心に残る学びとなります。

一緒に本市の魅力を全国の若者に伝えていきませんか。興味がある人は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

2025年修学旅行民泊 受け入れ実績・予定

受け入れ実績

学 校 名	日 程	人数
仙台市立幸町中学校	5月14日(水)～16日(金)	134人
横浜市立末吉中学校	5月20日(火)～22日(木)	335人
鎌倉市立御成中学校	6月4日(水)～6日(金)	142人
お茶の水女子大学 附属中学校	6月12日(木)、13日(金)	115人
堺市立陵西中学校	7月2日(水)、3日(木)	70人

受け入れ予定

学 校 名	日 程	人数
東京都立竹早高等学校	9月30日(火)～10月2日(木)	240人
関東第一高等学校	10月15日(水)、16日(木)	175人
神奈川県立横浜栄 高等学校	10月21日(火)～23日(木)	320人
日本大学第三高等学校	11月10日(月)、11日(火)	140人

東北観光推進機構「フェニックスアワード2024」を受賞！

「陸前高田民泊」は本年、『フェニックスアワード2024』を受賞しました！

本賞は、東北6県および新潟県の観光振興を通じた地域の活性化に貢献し、その功績が顕著であった団体・個人に表彰されるものです。これまでに延べ14,000人以上の中高生を受け入れ、参加者と受け入れ家庭との間に深い心の交流を築いてきたことや震災の記憶を伝える防災学習に力を入れてきたこと、「民泊クーポン券」を活用して地域経済の活性化に貢献してきたことが高く評価されました。

8月は「新規受入家庭 募集月間」！

8月は米崎町を中心に、一軒一軒皆さんのお宅に民泊の説明に伺う予定です。

「まずは話を聞いてみたい」「どんな流れか知りたい」といった人も大歓迎です。受け入れは年に1回でも構いません。少しの関わりが、子どもたちの未来を育て、地域の豊かさを広げる大きな一歩になります。地域の未来を育む仲間として、ぜひ一緒に民泊の受け入れを始めてみませんか。皆さんのご協力を心よりお待ちしております。

問い合わせ先 NPO法人SET(担当：民泊事務局 吉原) ☎0192(47)5747



民泊対面式



防災学習の一環で「モビタ」の研修体験を実施



民泊お別れ式



さとう もね ちゃん
佐藤 李音 ちゃん
(米崎町)

いずみ たしゅうと くん
泉田 秀音 くん
(横田町)



くま いきり ちゃん
熊谷 綺莉 ちゃん
(高田町)



にいぬま ゆいの ちゃん
新沼 結乃 ちゃん
(高田町)



かん のしゅな ちゃん
菅野 珠愛 ちゃん
(米崎町)



すず きさん た くん
鈴木 三太 くん
(高田町)



おいかわ さや ちゃん
及川 紗弥 ちゃん
(高田町)



おばら あこ ちゃん
小原 彩心 ちゃん
(小友町)



すが わら ゆずき くん
菅原 柚暉 くん
(気仙町)



ささき ななな ちゃん
佐々木 なずな ちゃん
(矢作町)



ささき ゆずき くん
佐々木 結稀 くん
(竹駒町)



みねい すばる くん
峯井 昂 くん
(米崎町)



すず きこれみち くん
鈴木 是道 くん
(広田町)



ながやま しゅう くん
永山 舟 くん
(高田町)



いいやま じん くん
飯山 仁 くん
(高田町)



ささき ゆう くん
佐々木 悠宇 くん
(気仙町)



はま だえいた くん
濱田 永太 くん
(高田町)

ゼロカーボンで もっといいまち 第5回



ゼロカーボン(脱炭素)とは：温室効果ガス、特に二酸化炭素(CO2)の排出を実質ゼロにすること

本市は、2050年カーボンニュートラルに向けて環境省が選定する脱炭素先行地域に選ばれました。本連載では、市が推進する脱炭素に向けた取り組みについて紹介していきます。

住宅向け「太陽光発電システム」、「木質バイオマスストーブ」の導入支援

本市のCO₂排出量のうち、家庭部門からの排出が約25%を占めています。カーボンニュートラルの実現に向けて、各家庭のCO₂排出量削減の取り組みにご理解ご協力をお願いします。

これまで本市では、住宅向けの取り組みとして「太陽光発電システム」と「木質バイオマスストーブ(薪ストーブなど)」の導入に対する補助を行ってきました。脱炭素先行地域への選定を受けて制度を見直し、本年度から補助率や上限額などを大幅に拡充しています。

この取り組みを通じて、地域での新たな再生可能エネルギーの創出と循環を推進するとともに、森林資源の活用を強化するなど、地域内資源循環の実現を目指しています。

助成額

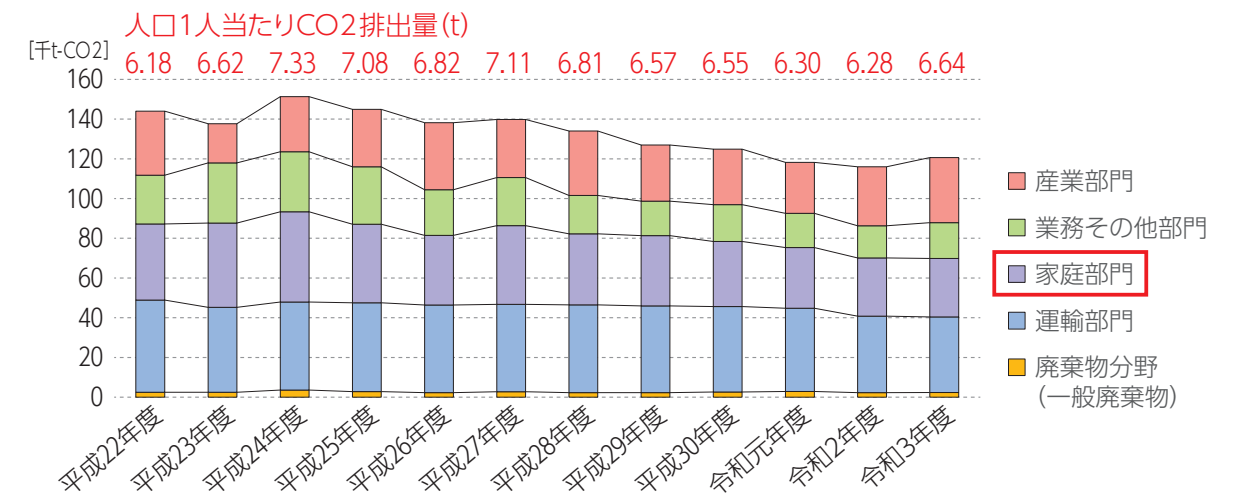
太陽光発電システム：設置費用(税抜)の3分の2以内(上限80万円)

木質バイオマスストーブ：設置費用(税抜)の4分の3以内(上限75万円)



豆知識

木質バイオマスストーブの燃焼時にはCO₂が排出されます。一方、樹木が成長する過程で大気中からCO₂を吸収していることから、木材をエネルギーに利用した場合はCO₂の総量は増えず、理論上カーボンニュートラルとみなされます。



本市の人口1人当たりCO₂排出量の推移(自治体排出量カルテを基に加工)

補助制度の活用を検討している人へ

陸前高田市新エネルギー設備導入促進事業助成制度(補助拡大)の詳細はこちら



本市が取り組む
脱炭素先行地域計画について

計画名 脱炭素と資源循環で実現する農林水産業振興
～復興の先の創造的産業振興モデル～

詳細は
こちら



問い合わせ先 市役所脱炭素推進室脱炭素推進係(内線341)

交流続く

本市とのつながりを生かした学生の学びの場へ 立教大学が新たな活動拠点を開所

SDGs GOAL 4 質の高い教育を
みんなに
SDGs GOAL 17 パートナリシップで
目標を達成しよう



西原総長(左)と佐々木市長が
看板除幕を行いました

本市との交流が続く立教大学の活動拠点として、高田町の高等職業訓練校内に「立教大学陸前高田サテライト」が開所され、その開所式が7月13日(日)に行われました。

同サテライトは、本年3月をもって閉所となった「陸前高田グローバルキャンパス」に代わり、立教大学と本市との交流と学びの新たな拠点として設置。開所を記念してあいさつした同大の西原廉太総長は、すでに複数のプログラムが予定されていることに触れながら、「このサテライトは、本学の池袋、新座に続く第3のキャンパスだと思っている。これまでのつながりを大切にしながら、学生にさまざまな体験をさせたい」と今後を見据えました。

歌声
響かせ

日々の練習の成果を披露 気仙芸術祭合唱フェスティバル

SDGs GOAL 4 質の高い教育を
みんなに
SDGs GOAL 11 住み続けられる
まちづくりを

気仙地区芸術文化協会連絡協議会が主催する第34回合唱フェスティバルが、7月13日(日)に奇跡の一本松ホールで開催されました。

本イベントには、気仙地区を拠点に活動するコーラスグループ9団体が出演し、調和の取れた美しい歌声を響かせ、出演者を含む約600人の来場者とともに歌を楽しみました。

合唱を聴きに訪れた来場者は「今年も知合いの出演が楽しみで聴きにきた。今年は新たにゴスペルの団体が参加していて新鮮だった。どの団体の合唱も素晴らしかった」と笑顔を見せました。



最後には全体合唱が披露されました

あそびに
きてね

利用者の安全・安心を願い 市内海水浴場で海開き式を実施

SDGs GOAL 12 つくる責任
つかう責任
SDGs GOAL 14 海の豊かさを守ろう



海開き初日から海水浴客でにぎわいました(高田松原海水浴場)

高田松原海水浴場と広田海水浴場では7月18日(金)、海開き式が行われ、出席した関係者はシーズン中の海水浴場利用者の安全を祈願しました。

市観光物産協会の熊谷正文会長は「市内内外の多くの人に砂浜の清掃などに協力していただいた。水難事故が起きないように、また快適に楽しんでもらえるような運営に努める」と話しました。

高田松原海水浴場では、本年も国際環境認証「ブルーフラッグ」の認証を受け、安全で良質なビーチの象徴である青色の旗が掲げられています。

絆の音色

509人の観覧者を魅了 名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサート

SDGs GOAL 4 質の高い教育を
みんなに
SDGs GOAL 11 住み続けられる
まちづくりを



奇跡の一本松が使われたバイオリンで演奏する奏者

6月22日(日)、名古屋フィルハーモニー交響楽団によるコンサートが、奇跡の一本松ホールで開催されました。

本楽団による本市でのコンサートは3回目となり、今回は奇跡の一本松が使われたバイオリンの演奏や陸前高田市民歌の演奏もあり、陸前高田市と名古屋市の絆をより一層感じるコンサートとなりました。

演奏を聴きに訪れた荒木忠子さん(高田町)は「名古屋フィルハーモニー交響楽団のコンサートを聴くのは2回目で、前回よりも素晴らしい演奏で感銘を受けた。またの機会があればぜひ来たい」と声を弾ませていました。

災害に
強いまち

地域の防災力強化のため 土砂災害・洪水避難訓練と水防演習を実施

SDGs GOAL 11 住み続けられる
まちづくりを
SDGs GOAL 16 平和と公正を
すべての人に

7月6日(日)、竹駒町壺の沢地区を対象に土砂災害・洪水を想定した避難訓練が行われ、地域住民97人が参加しました。指定避難所の壺の沢公民館では情報伝達システムを利用した応答訓練や炊き出しなどの避難所運営訓練を実施。参加した浅沼鉄兵さんは「防災についての学びになることはもちろん、地域の交流の場にもなり、とても良かった」と振り返っていました。

また、同日には、市消防団員などで構成する水防隊による水防演習が、高田松原運動公園で実施されました。

例年の横田町内の気仙川左岸堤防から会場を変えて初めて行われた本演習には、消防職・消防団員291人が参加。堤防崩壊を防ぐための「シート張り工法」と、川から水があふれるのを防ぐ「改良積土のう工法」を行い、水害への備えを確認しました。



炊き出し訓練を行いました(壺の沢地区避難訓練)

いつまでも
きれいに

水生生物を通して矢作川を知る 矢作川水生生物調査

SDGs GOAL 4 質の高い教育を
みんなに
SDGs GOAL 14 海の豊かさを守ろう



石の裏側にいる生き物を探す児童

7月8日(火)、矢作小学校(佐々木一義校長)の2、3年生6人が、矢作川で水生生物調査を行いました。

本調査は、県と共同で毎年実施しており、川に入った子どもたちは、どのような生き物が生息しているのか調査し、矢作川の水質について学びました。

今回の調査では、比較的にきれいな水質の川にすむ生き物が多く生息していることを学び、参加した千葉大晴さん(2年生)は「身近な川がきれいだと知ってうれしかった。普段から川で遊んでいるので、川をきれいにし続けられるようにしたい」と意気込んでいました。

Information

開催します

就職希望者はぜひご参加ください
就職応援面談会を開催します

気仙地区雇用開発協会では、気仙地域の事業所と気仙地域への就職希望者が一堂に会する就職応援面談会を開催します。

複数の事業所と一度に話せる機会ですので、興味がある人はぜひご参加ください。学生の参加も大歓迎です。

日時：8月19日(火)午後1時30分～3時30分

会場：市コミュニティホール

対象：気仙地域に就職を希望する求職者、大学・専門学校などの学生

申込：①受付サイト②大船渡公共職業安定所の相談窓口③電話

申込期限：8月18日(月) ※当日参加も可

申し込み・問い合わせ先：大船渡公共職業安定所 ☎0192(27)4165

本と人の交流イベント 第1回ブックランドさんりく

ブックランドさんりく実行委員会では、次のとおり本と人の交流を楽しむイベントを開催します。

古本市や朗読劇、本に合う軽食の販売など、本に関する企画が盛りだくさんの2日間です。お気に入りの本を見つけに、ぜひお越しください。

日時：①9月6日(土)午後1時～6時30分 ②7日(日)午前10時～午後3時

場所：高田町まちなか広場周辺(雨天の場合は、アバッセたかたパブリックスペース)

問い合わせ先：交流施設ほんまるの家 ☎0192(47)3389

主催：ブックランドさんりく実行委員会

創業に向けた知識を学べます 創業・新ビジネス構築セミナー

県内25の商工会と岩手県商工会連合会では、将来の地域経済を担う次世代の経営者などを対象に、創業や新しいビジネス構築に向けたセミナーを開催します。

経営、財務、人材、販路など、事業の立ち上げや成長に欠かせない知識を体系的に学べる内容となっていますので、興味のある人はぜひご参加ください。

日時：①8月23日(土) ②9月6日(日)

(出) ③20日(土) ④27日(土) ⑤10月4日(土) 午後1時30分～5時30分

開催方法：リモート配信(Zoomなど)

対象者：県内で創業などに関心のある人、6次産業化を検討中の農業者、新事業を検討している事業者など

参加費：無料

申込方法：二次元コードから申し込み

申込期限：8月18日(月)

問い合わせ先：申し込み先：岩手県商工会連合会 ☎019(622)4165

募集します

自主企画講座受講者募集
きものリメイク教室

初心者を対象に、全6回の講座できものリメイク教室を開催します。

途中からの参加もできますので、お気軽にご参加ください。

日時：9月1日(月)、15日(月・祝)、10月6日(月)、20日(月)、11月19日(月)、12月1日(月) 各日午前9時～午後3時

費用：なし

持ち物：着物、ミシン

会場：市コミュニティホール

講師：菅野和子氏

申し込み先：きものリメイク教室(菅野) ☎080(6038)3673

問い合わせ先：市教育委員会教育総務課生涯学習・芸術係(内線552)

考えよう！ペットの飼育方 犬・猫の不妊去勢手術 助成します

岩手県獣医師会では、犬・猫および地域猫の不妊手術費用に対し助成を実施しています。

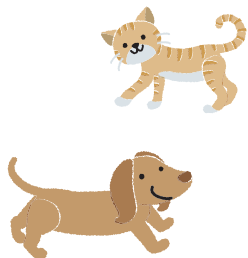
助成を希望する人は、必要事項を記入した申込票を、会員動物病院または岩手県獣医師会に提出してください。

申込票は会員動物病院または市役所まちづくり推進課窓口で配布しています。

申込条件：①岩手県在住者②岩手県獣医師会会員動物病院で本年4月1日以降に手術したもの、または令和8年1月15日(木)までに手術可能なもの③犬については、狂犬病予防法に基づく登録および狂犬病予防注射実施済のもの④地域猫については、管理代表者が不妊手術済の目印となる耳先カットに同意したものの※1世帯につき犬・猫どちらか1頭のみ。地域猫については、制限なく応募可能。

申込期限：9月30日(火)

申し込み・問い合わせ先：一般社団法人岩手県獣医師会 ☎019(656)1014



帰省する人にお知らせください いわておかえり サマーキャンペーン

県では、県外から帰省する人を対象に、岩手で働く魅力をPRする「いわておかえりサマーキャンペーン」を実施しています。

期間中に県公式の就職情報サイト「シゴトバクラシバいわて」に新規登録した人の中から抽選で「いわて牛」などの県産品をプレゼントします。

対象：県外在住の人

期間：9月15日(月・祝)まで

問い合わせ先：県定住推進・雇用労働室 ☎019(629)5588

ひとり親家庭の悩みに 弁護士による無料法律相談

県母子寡婦福祉連合会では、ひとり親家庭の父や母、離婚を考えている人を対象に弁護士による特別法律相談を実施します(要予約)。秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

日時：8月27日(水)午前10時～午後3時

場所：大船渡地区合同庁舎2階第1会議室

対象：ひとり親家庭の母子、父子など

内容：離婚や親権・養育費問題など

費用：無料

申し込み・問い合わせ先：県

シルバー人材センター 清掃講習会開催・ 新たな仲間を募集します

市シルバー人材センターでは、本センターに入会し仕事を希望する人を対象に、清掃の技術を習得し、就業に役立てるための講習会を開催します。

日時：9月8日(月)午前9時～

場所：市コミュニティホール

講師：おそうじ本舗 遠野店

受講料：無料

定員：20人(先着順)

申込期限：9月2日(火)

一緒に活動する仲間を募集します。まずは、入会説明会にお越しください。

日時：8月13日(火)、28日(水)、9月11日(木)、25日(木) 午後1時30分～

対象者：市内在住の60歳(介護・保育の仕事に限って仕事を希望する人は55歳)以上の、健康で働く意欲のある人

申し込み・問い合わせ先：市シルバー人材センター ☎0192(54)4888

お知らせ

適正な処理に協力を
廃棄物を回収します

大船渡地方農業振興協議会では、廃棄物の回収を行います。運搬費や処理費は、個人負担となります。持ち込みの際は、JAの通帳と通帳の届出印を持参してください。

母子寡婦福祉連合会 ☎019(623)8539

情報伝達試験を実施します 全国瞬時警報システム 全国一斉情報伝達試験

全国瞬時警報システム(Jアラート)の全国一斉情報伝達試験が実施されることに伴い、次のとおり防災行政無線から放送します。また、市公式SNSなどでも放送内容を配信します。なお、災害発生などにより中止となる場合があります。

日時：8月20日(水)午前11時頃

日時：8月29日(金)午前9時～11時
場所：JAおおふなと西部農業センター
注意：①廃棄物を運搬する際は、車両に運搬している旨を表示することや書類を携帯する必要がある。関係書類は、市役所農林課または総合営農指導センターにありますので、回収日前に窓口へお立ち寄りください。②持ち込みの際は、氏名を記入した段ボールに廃棄物が入った容器を入れ、ご持参ください。

社会福祉法人陸前高田市保育協会 保育園の園庭を開放します

8月2日(土)から市内保育園5カ所の園庭を開放しています。お気軽にご利用ください。

開放保育園：①広田②米崎③横田④竹駒⑤下矢作

日時：毎週土曜日 午前9時～正午(祝日の土曜日、年末年始を除く)

対象：未就学児とその保護者など(子どものみ利用はできません)。

利用方法：①園庭を利用するときやトイレを使用するときは、保育園の職員に声をかけてください。②遊び道具は、園内のものを使用し、持ち込みはご遠慮ください。

問い合わせ先：市保育協会事務局 ☎0192(22)9288

放送内容：「これは、Jアラートのテストです。」※3回繰り返し

配信方法：登録制メール、LINE、Facebook、X、市ホームページのトップページ

登録制メールの配信登録はこちら

市公式LINEの配信登録はこちら

こちらのコードリーダーでスキャンしてください。

問い合わせ先：市役所防災課(内線702)

祝いの百寿

田村順子さん(高田町)
大正14年6月17日 気仙町生まれ

令和元年からひだまりの丘サービス付き高齢者向け住宅「ほっこり家」に入所しており、施設内で行われたセレモニーでは親戚や入居者、職員の皆さんと百寿を喜び合いました。

順子さんは毎日3食欠かさず食べ、施設の敷地内の散歩を日課としており、この日も歩行器を使い自分の足で歩いてロビーまで来るなど、元気な姿を見せました。

市では、めでたく満百歳を迎えた人に記念品を贈り、長寿を祝いました。
※対象期間＝6月16日～7月15日(希望した人のみ)

おめでた ()は保護者・字名

女の子

- 気仙 佐々木 莉都 (茂崇・双六)
高田 伊藤 楓華 (大樹・鳴石)

お幸せに ()は字名

- 横田 佐藤 龍晟・佐藤 百 (南行)
竹駒 佐々木 裕郷・三橋 英里奈 (滝の里)
気仙 及川 友吾・小野田 未羽 (愛宕下)
佐藤 颯太・菅野 夏未 (水上)



お悔やみ ()は年齢・字名

- 気仙 菅野 徳男 (76歳・愛宕下)
熊谷 好子 (83歳・古谷)
菅野 日夫 (93歳・水上)
菅野 孝一 (94歳・双六)
熊谷 弘子 (83歳・要谷)
村上 ツヤ子 (91歳・上長部)
高田 迎クニ子 (87歳・栃ヶ沢)
福崎 武男 (97歳・鳴石)
村上 千賀子 (89歳・西和野)
遠藤 利喜雄 (90歳・中田)
米崎 新沼 信彦 (89歳・地竹沢)
笹木 喜美夫 (88歳・川西)
小友 千田 文治 (92歳・三日市)
戸羽 トリコ (94歳・谷地館)
渡邊 基久雄 (78歳・小ヶ口前)
広田 村上 文夫 (69歳・久保)
吉田 スエ子 (94歳・田端)

数字で見る陸前高田市

(令和7年6月30日現在)

市内の火災救急活動

6月

()は1月からの累計

- 建物 0件 (1件)
■林野・その他 0件 (4件)
■出動件数 62件 (523件)
■搬送人員 63人 (506人)

市の人口(住民登録人口)

()は前月比 出生・死亡数は6月分

- 男 性 8,161人 (- 8人)
■女 性 8,776人 (- 1人)
計 16,937人 (- 9人)
(出生5人 死亡19人)
世帯数7,544 世帯(+5世帯)

市内の交通事故

6月

()は1月からの累計

- 人身事故 2件 (12件)
■物損事故 20件 (108件)
■負傷者 6人 (22人)
■死亡者 0人 (0人)
■飲酒運転 2件 (3件)

地域包括支援センター発

介護お茶のみ話

129



地域で認知症の人を支える！
「チームオレンジたかた」の紹介

65歳以上の5人に1人、国民の17人に1人が認知症になると予測され、今や認知症は誰もがなり得る身近なものとなっています。今後ますます独居や高齢者のみの世帯が増加し、家族だけではなく地域で認知症の人を支える仕組みが必要です。

「チームオレンジたかた」とは？

そこで、地域に「認知症サポーター」が集結し、認知症の人や家族に対する支援を行う任意団体「チームオレンジたかた」が立ち上がりました。『認知症になっても安心して暮らすことのできる共生のまち』の実現に向けて活動しています。

●どんなことをしているの？

①普及啓発活動…認知症支援のテーマカラーであるオレンジ色のポロシャツを身に付け、認知症に関する情報発信を行っています。

②スローショッピングのサポート…買い物に不安のある人に付き添い、会話をしながら品物選びや会計などのサポートをします。

③認知症カフェの開催…認知症の人やその家族、その他の人も

みんなが気軽に集まれる居場所づくりを目指しています。

④地域での見守り活動…メンバー

が居住する各地区において、公民館などのお茶っこ会や体操会などを開催し、近隣の人との交流や社会参加を促し、見守りにつなげています。

●メンバーはどんな人？

メンバーは、市が主催する次の2つの講座の修了者であり、現在21名が活躍しています。

①認知症サポーター養成(認知症を学ぶ)講座…認知症の症状の特徴や対応方法について学びます。

②認知症サポーターステップアップ講座…実践者としての具体的な支援方法について学びます。チームの思いに賛同し一緒に活動するメンバーを募集しています。お気軽にお問い合わせください。



問い合わせ先 市地域包括支援センター (内線215)

保健だより



522

夏の食中毒にご用心！

8月は、「食品衛生月間」です。高温・多湿な夏場は、細菌による食中毒が発生しやすい時期です。細菌が食品などを介して体内に入ること、腹痛や下痢、おう吐などの症状を引き起こします。

●食中毒予防の3原則

細菌による食中毒を予防するためには、次の3つが原則となります。

つけない

手にはさまざまな雑菌が付着しています。食中毒の原因菌やウイルスを食べ物に付けないように、調理を始める前や食事の前などは、必ず手を洗いましょう。

肉や魚を切った包丁やまな板を、野菜や果物などの生で食べる食材の調理に使いまわすと、食中毒の原因になることがあります。調理器具は食品ごとに分けて使いましょう。

焼肉などの場合は、生の肉をつかむ箸と焼けた肉をつかむ箸は別のものにしましょう。

食品の保管の際には、他の食品

に付いた細菌が付着しないよう、密閉容器やラップを使いましょう。

増やさない

細菌の多くは高温多湿な環境で増殖が活発になりますが、10度以下では増殖がゆっくりとなり、マインス15度以下では増殖が止まります。生鮮食品や惣菜などは、購入後、できるだけ早く冷蔵庫に入れます。なお、冷蔵庫に入れた後も、細菌はゆっくりと増殖しますので、冷蔵庫を過信せず、早めに食べることが大切です。

やつける

ほとんどの細菌やウイルスは、加熱により死滅するため、肉や魚はもろろん、野菜なども加熱して食べるほうが安全です。特に、肉料理は中心までよく加熱することが大切です。中心部を75度で1分以上加熱することが目安です。布巾やまな板、包丁などの調理器具にも、細菌やウイルスが付着します。洗剤でよく洗ってから、熱湯や塩素系漂白剤で消毒しましょう。

問い合わせ先 市役所保健課 母子保健係 (内線233)



二層になるゼリームース

今月のおすすめレシピ

夏にぴったりな簡単スイーツ

[1人分]
エネルギー...114kcal
食塩相当量...0.1g



材料を混ぜ合わせて容器に注ぐだけで、プルンとおいしいオレンジゼリーとふんわりムースの二層に分かれる簡単で不思議なゼリーです。

熱いゼリー液に、牛乳・生クリームを加えたら混ぜ過ぎない事がポイントです。オレンジジュースは果汁100%のものを使用してください。

ぶどうやりんごなどのジュースでも作れますし、コーヒーを入れて大人なイメージにすることもできます。

とても簡単ですので、ぜひお試しください。

作り方

材料(5人分)

牛乳 100g
生クリーム 100g
オレンジジュース 250g
ゼラチン 5g
砂糖 50g

- ゼラチンを水でふやかしておく。
- 牛乳と生クリームを同じ容器に入れ、泡立て器で全体を混ぜ合わせる。
- ジュース、ゼラチン、砂糖を鍋に入れ、中火でゼラチンを溶かしながら混ぜていく。
- ③が沸騰してきたら②を少しずつ入れ、混ぜていく。
(全体が大体混ざればOK。混ぜ過ぎに注意)
- 容器に入れて、冷蔵庫で冷やす。

問い合わせ先 市役所子ども未来課子育て支援係(内線 254)



主役は君だ TAKATA-UI5

※UI5とは...15歳以下の子どものことを意味します

このコーナーでは日ごろ、大会などでの好成績を目指し市内で練習に励んでいる子ども達を紹介します。



チーム名(学校名)

陸前高田ベースボールクラブ

種目 軟式野球

団員26人

監督 おおわだ たけや 大和田 武也 さん

チームスローガン 心をひとつに全力プレー!!

キャプテンからのコメント

小友小学校
ふじくら そうた
藤倉 颯大 さん
(6年)



「もりしんカップ」優勝を目指して、普段からみんなで声をかけあって練習に取り組んでいます。

今後は、守備の練習に力を入れてエラーをなくし、チームの強みのバッティングで勝利を目指します。

